

学校 教育 目標	「ともに学び ともに高め合い ともにかがやく」				
	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで学び合い、考えを深める子（知）（開） ・自分も友達も大切に、集団の中で自分らしさを発揮できる子（徳）（公） ・健康に関心を持ち、心身共に成長する子（体） 				
学校 概要	創立 30 周年	学校長 小林 康子	副校長 宮崎 智洋	2 学期制	一般学級：18 個別支援学級：3
児童生徒数： 580 人 主な関係校：中川西中学校 都筑小学校 荏田小学校 すみれが丘小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・多様性を尊重して協働する力 ・相互に考えを伝え、深め合い、合意形成する力 ・自分らしさを発揮しようとする力 ・自己実現に向けて、自主的に考え、課題解決をする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・中川西中学校 ・都筑小学校 ・荏田小学校 ・すみれが丘小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・つながりの中で、あいさつをしっかりとする子 ・つながりの中で、認め合い、励ましあい、高めあう子 ・つながりの中で、自らの課題を見つけ、解決しようとする子 <p>・「主体的、対話的で深い学び」をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科等領域においてテーマを意識した授業を展開する。(6月 小中連携授業研究会)</p> <p>・児童生徒の交流日に、6年生が授業参観や部活動見学を行う。</p>

中期 取組 目標	<p>○子ども一人ひとりを大切にしながら、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく充実した授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自己有用感を持ち、楽しく学校生活を送れるようにします。 ・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。 ・「人」「もの」「こと」の関わりを重視し、豊かな体験を通して、まちとともに歩む心を育てます。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知	①子どもの興味・関心を引き出し、学ぶ意欲を大切にすることで、主体的に問題解決していく力を育成する。②知識や経験を関連付けながら課題解決を図ったり、他者と協働したりする中で、対話的で深い学びに向けて授業改善を推進する③個に応じた指導や支援を充実する。
担当 学力向上プロジェクト	
豊かな心	①たてわり活動、クラブ、宿泊体験学習等、様々な教育活動で学年内交流、異学年交流など多様な集団づくりを心がけ、互いを思いやり、豊かな心情を育む。②児童会活動を中心にあいさつ運動を推進し、人とのつながりを深める。③道徳の時間、人権教育を通して、心を育む教育を推進する。
担当 よりよい人間関係プロジェクト	
特別支援教育	①個々の教育的ニーズに応じた支援をし、教育活動の充実を図る。②特別支援教育の視点を取り入れた環境整備や授業の構造化を図り、どの児童にも楽しくわかる授業を展開する。③全教職員で個別支援学級の授業参観、研究協議に参加し、ユニバーサルデザイン教育について理解を深める。
担当 特別支援委員会	
児童生徒指導	①児童一人ひとりの課題について、全職員が共通理解する場を定期的にもち、適切な支援をする。②全教育活動を通して、道徳・人権教育との関連を図り、自他を大切にすることを育て、人権意識を高める。③「スタンダード」を全職員で共通理解し指導にあたり、実情に合わせ見直す。
担当 よりよい人間関係プロジェクト	
健やかな体	①「手洗い、うがい」を奨励し、学校保健委員会を中心として、児童自身の意識向上、家庭と連携して日常的に健康保持増進、心の健康に取り組む。②「なわとび集会」など、楽しく体を動かす活動に取り組む。
担当 保健安全プロジェクト	
安全管理	①防犯マニュアル・防災計画を整備し、児童への訓練および引き取り訓練や職員の研修・訓練によって、適切で迅速な対応がとれるようにする。②毎月1回、施設の安全点検や登下校路をの安全確認を行い、全職員で安全・安心な環境づくりに努める。
担当 保健安全プロジェクト	
地域連携	①地域の材や人と直接ふれあったり、専門機関などと連携して体験学習の充実を図る。②保護者・地域と協働した避難訓練や地域の見守り隊や保護者の見守りボランティアと連携して、児童の登下校の安全を図る。③幼稚園・保育園・また、中学校との交流を推進する。
担当 教務部・保健安全・各学年部	
教育課程 学習指導	①重点研究として取り組む「算数」を中心に、児童一人ひとりが主体的に問題解決する力、コミュニケーション能力、自己有用感を高めるようにする。②外部講師を招き、授業研究会を行い、指導を仰ぎ、授業力向上を推進する。
担当 学力向上プロジェクト	
いじめへの対応	①全教育活動を通して、豊かな関わりの中で望ましい人間関係を築く。②いじめ防止対策委員会で、情報の共有を図り、課題解決や未然防止・早期発見に努め、組織的な対応をする。③研修を実施して全教職員の感度を高くするとともに、アンケートによる情報収集に努める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①週に1回、学年研を充実させ、学習指導と生活指導の実践力を高める。②5年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となる活動を継続して行い、教職員の力量を向上させる。③週に1回、教務会を行い、ミドルリーダー等が全体を見通して学校運営していく場を設定する。④各ステージの相互の関係を視野に入れた計画的、組織的な人材育成を推進する。
担当 教務部・メンターチーム	